

6/14 全国廃校活用現地セミナーが開催されました

廃校となった学校の有効活用を考える全国廃校活用現地セミナーが、きくちふるさと水源交流館で開催されました。セミナーには、行政や民間団体から約40人が参加し、九州各地の先進事例などが発表されました。近年、全国でも廃校の活用をどうするのか問題となっています。主催である財団法人都市農山漁村交流活性化機構の齋藤章一専務理事は、「多様化する生活様式のなか、地域の拠点となるような利用ができることを願う」と述べました。



セミナーでは九州各地の廃校活用の事例が発表されました

6/21 ためこら～為になる! 人権啓発劇

生涯学習講座「こら～為になる講座」は、泗水公民館で開催され、冒頭で山鹿人権擁護委員協議会(岩崎義郎会長)による人権啓発劇がありました。劇では、会員の皆さんが福島県の大飯原発に伴う放射能汚染の風評被害について寸劇を披露。岩崎会長は、「悩みや困ったことがあれば電話でもいいので、気軽にご相談ください」とあいさつしました。

その後、法務局の職員による「遺言」についての講話があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。



劇を披露する山鹿人権擁護委員協議会の皆さん

6/12 赤ちゃんときんしゅぷ 乳児ふれあい学習

菊池北中学校(久保明博校長)で思春期教室(乳児ふれあい学習)が行われました。学習には、2年生と生後2～9カ月の赤ちゃん親子12組が参加。生徒たちは、赤ちゃんの衣服の着替えやオムツ交換を体験しました。2年1組の小林聡太くんは、「初めて赤ちゃんをだっこしました。緊張したけど、とてもかわいいです」と笑顔を見せました。最後に、赤ちゃんの親から出産や育児について話を聞き、育児の喜び、苦労、親になる責任などを学びました。



赤ちゃんを優しく抱っこする生徒

6/16 ちち父の日に乳を贈ろう!

6月17日は父の日ということで、今年も菊池市の酪農女性部の皆さんが、市役所でキャンペーンを行いました。菊池市は、西日本最大の酪農地帯であり、このキャンペーンも、菊池地域で始まり、今では全国に広まったものです。

熊本県酪農協同組合連合会菊池支所女性部長の稲田仁美さんは、「たくさん牛乳を飲んで、元気に仕事してください」と、福村市長に牛乳を贈りました。



福村市長に牛乳を手渡す稲田さん(中)と堀瑞枝さん(右)

6月～8月 韓国人インターンシップ生が菊池市で体験中!

韓国人大学生の曹顯昇(ジョ・ホスン)さんが約3カ月間、菊池市でインターンシップを体験しています。ジョさんは、慶尚北道にある釜山大学の2年生で、専攻は自動車機械工学です。期間中は市役所のほか、メロドーム、温泉ドーム、きらり水源村や菊池溪谷などで実習を行っています。「1年前に日本語の勉強を始めたばかりですが、ベストを尽くし、たくさん事を学び経験しながら、一生忘れない思い出を作りたいです」と抱負を述べました。



インターンシップ生のジョさん(左)。引率で市長を訪問した韓日社会文化フォーラム事務局長キム・ギュヒョンさん(右)

6/9 第16回ほたるの里・旭志剣道大会

旭志体育館および旭志中学校体育館と武道場を会場に開催されました。県内より小学校72チーム、中学校51チームの計123チームが参加。約800人の少年少女剣士たちが、優勝を目指して激しい熱戦を繰り広げました。

上位の結果は次のとおりです。

- 小学校低学年**
 優勝 隈府小学校 準優勝 泗水小学校
 3位 大津少年剣道クラブ・大津南少年剣道クラブ



中学校女子の部で優勝した旭志中学校の皆さん

6/6 菊池たばこ販売協同組合 清掃ボランティア

菊池たばこ販売協同組合(福嶋達也理事長)の組合員の有志11人が、市役所前など街路の清掃作業を行いました。この活動は、菊池をきれいになりたいという思いから始まったもので、約20年間続いています。

組合員の皆さんは、街路に捨てられた紙くずやたばこの吸い殻などを拾い、額に汗をにじませながらまちをきれいにしていました。



清掃作業を行う組合員の皆さん



小学校低学年の部で優勝した隈府小学校の皆さん

- 小学校高学年**
 優勝 稲田小学校、準優勝 城西小学校
 3位 菊之池小学校・龍驤館
- 中学校男子**
 優勝 九州学院中学校、準優勝 錦ヶ丘中学校
 3位 旭志中学校・西合志南中学校A
- 中学校女子**
 優勝 旭志中学校、準優勝 大津中学校
 3位 泗水中学校・菊池南中学校

7/5 松岡 誠さんが 菊池市に寄付金

菊池市弓道協会名誉会長の松岡 誠さんが、市のスポーツ振興に役立てほしいと、市に寄付金を贈呈しました。松岡さんは、昭和42年に弓道協会の前身となる菊池弓友会を発足。教士7段の資格を取得し、後進の指導や功績などから数々の表彰を受けてきました。現在93歳の松岡さんは、「弓道場もでき、試合にもたくさん出させてもらいました。これまで続けられた感謝を込めて寄付します。市のスポーツ振興に役立ててもらえたら」と思いを語りました。



福村市長に寄付金を手渡す松岡さん

7/7 犯罪や非行の防止と 更生への理解を

第62回社会を明るくする運動菊池市集会は、菊池市文化会館で開催され、市民約600人が参加しました。「社会を明るくする運動」は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会では、泗水小学校合唱部の演奏に続き、小中高校生の作文表彰・発表、林 寛乗さん（福岡・南蔵院第二十三世住職）による記念講演がありました。



保護司が法務大臣からのメッセージを代読しました

6/29 黒潮市場から泗水小学校へ マイバッグ持参運動寄付金

黒潮市場では、地域密着型企業としてマイバッグ持参運動を展開しています。この運動は、マイバッグを持参していない来店者に、レジ袋を1枚1円で販売し、その代金の一部を地域の小学校などに寄付するというものです。

今回は、黒潮市場泗水店より泗水小学校へ寄付金が贈られました。宮川淳一校長は、「ありがとうございます。頂いた寄付金は、学校の図書などの購入に充てたい」と感謝を述べました。



黒潮市場泗水店店長の東さん（左）と寄付金を受け取った泗水小学校の宮川校長（右）

7/6 第6回東京菊池会総会 ふるさと菊池のつどい

東京菊池会（平山正剛会長）の第6回総会が開催されました。この会は、菊池市の出身者や菊池市にゆかりがある首都圏在住の人が、市の活性化に寄与することを目的に組織される会です。総会後の「ふるさと菊池のつどい」には、福村市長をはじめ多くの会員が参加。ふるさとの思い出話に花を咲かせました。また、菊池市出身のフルート演奏家・須藤英二さんのフルート演奏や、ふるさと特産品のPRを兼ねた抽選会も行われ、盛り上がりを見せました。



東京菊池会総会にはたくさんの会員が参加しました

6/12 龍門小学校にオリンピック選手がやってきた!

ロンドンオリンピックボート男子軽量級ダブルスカル代表の武田大作選手と浦 和重選手が、龍門小学校を訪問しました。二人は北京、アテネに続き3回目のオリンピック出場で、6月17日まで斑蛇口湖ボート場で合宿を行っていました。

今回、教育委員会が二人に依頼して訪問が実現。学校を訪れた二人は、「オリンピックを目指すことが大事。挫折することもあります。夢を持って生活してほしい」と子どもたちに語りました。



1. 競技で使用するオールに触れてはしゃぐ児童 2. 武田選手（右）と浦選手（左） 3.4. みんな一緒に給食を食べました



お昼には児童と一緒に給食も食べ、子どもたちは質問や話しをしながら楽しい時間を過ごしました。

6/23・24 第30回九州少年柔道大会

長崎県立総合体育館で開催され、九州各県の代表530人が技を競いました。菊池市からは、新輝塾（花堂武浩監督）の伊藤睦基くん（泗水小1年）、高野麻衣さん（菊池北小5年）、富田玲司くん（隈府小6年）、佐々和紀くん（七城小6年）が出場しました。なお、佐々くんは、8月25日・26日に鹿児島県で開催される第9回全国少年柔道大会にも出場予定。「県代表ということを感じて、悔いの残らない試合をしたい」と意気込みを語りました。



大会に出場した新輝塾の皆さん

6/22 児童と園児が 楽しく田植え体験

菊池北小学校（宇野達也校長）の学校田で、同校5年生31人と、菊池さくら保育園年長組20人が田植え体験をしました。同校では、平成20年度から5年生の「総合的な学習の時間」の一つとして行っており、昨年と同園も参加して実施しています。

今回植えたのは、赤米、緑米、ヒヨクモチの3種類。5年生の三隅菜生さんは、「初めて田植えをしたけど、とても楽しい」と笑顔。子どもたちは泥だらけになりながら、1株1株丁寧に植えていました。



地域の人、先生、保護者の指導を受けながら、子どもたちは上手に苗を植えていました